

徳川家康公生誕 480 年記念シンポジウム

家康公と徳川四天王

幾多の辛苦を乗り越え、265年の平和の礎を築いた徳川家康公。
その偉業を支えたのは徳川四天王に代表される家臣団でした。
家康公と家臣団との固い絆、徳川四天王の活躍を振り返ります。

日時 令和4年 **5月21日(土)**
13時30分～16時30分

会場 **岡崎市民会館あおいホール**
(岡崎市六供町字出崎15番地1)

申込 裏面をご確認ください。

第1部 基調講演

第2部 パネルディスカッション

聴講
無料



基調講演 講師
パネルディスカッション
コーディネーター



国際日本文化
研究センター教授

いそだ みちふみ
磯田 道史氏

1970年岡山市生まれ。慶應義塾大学大学院卒。博士(史学)。静岡文化芸術大学教授などを経て、現職。テレビの各種歴史番組への出演も豊富。著書に『武士の家計簿』(新潮新書、新潮ドキュメント賞受賞、2010年映画化)、『近世大名家臣団の社会構造』(文春学藝ライブラリー)、『殿様の通信簿』(新潮文庫)、『江戸の備忘録』(文春文庫)など多数。『無私の日本人』(文春文庫)の一篇「穀田屋十三郎」が2016年「殿、利息でござる!」として映画化されている。近著に『感染症の日本史』(文春新書)など。

パネリスト



とくがわ いえひろ
公益財団法人
徳川記念財団理事長 **徳川 家広氏**

1965年東京生まれ。徳川宗家18代恒孝公長男。慶應義塾大学卒業後、米シガン大学で経済学修士号を取得。国連食糧農業機関(FAO)ローマ本部などで勤務の後、米コロンビア大学で政治学修士号を取得。2000年末に帰国してからは翻訳家、政治経済評論家として活動。著書に『自分を守る経済学』(ちくま新書)、『マルクスを読み直す』(筑摩選書)。訳書に『豊かさの誕生』(日本経済新聞出版社)など。



公益財団法人致道博物館代表理事・館長
酒井忠次家18代当主

さかい ただひさ
酒井 忠久氏

本多忠勝家22代当主
ほんだ ひろゆき
本多 大将氏



榊原康政家17代当主
さかきばら まさのぶ

榊原 政信氏

彦根城博物館館長
井伊直政家18代当主
い い なおたけ
井伊 直岳氏



主催 / 一般社団法人徳川家康公に学ぶ会、岡崎商工会議所

岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会 (岡崎市、岡崎市六ツ美商工会、岡崎市ぬかた商工会、一般社団法人岡崎市観光協会、あいち三河農業協同組合、岡崎市青年経営者団体連絡協議会、岡崎商工会議所)

協賛 / 公益財団法人徳川記念財団

